



## テーマは「福島県の農業産出額」

「都道府県別農業産出額」は、都道府県を推計単位とし、品目ごとの生産量に品目ごとの農家庭先販売価格注（消費税を含む。）を乗じたものです。

また、「生産農業所得」は、農業産出額から物的経費を控除し、経常補助金を実額加算したものです。

注：農家庭先販売価格とは、農業経営体が出荷した時点における価格から販売手数料や運賃を差し引いた価格である。

### 令和6年農業産出額は前年比32.9%増加

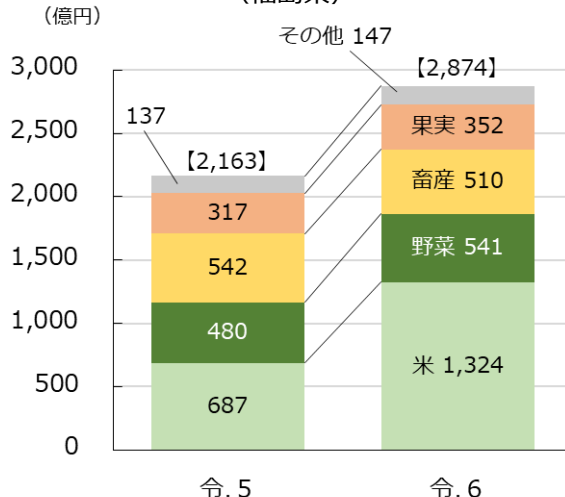
福島県の令和6年農業産出額は2,874億円となり、前年から711億円（32.9%）増と大幅に伸びました。

これは、米の販売価格が大きく上昇し、米の農業産出額が前年から637億円（92.7%）増加したことが主な要因です（表1、図1）。

部門別の農業産出額の割合をみると、米は32%から46%へと14ポイント増加し、全体の約5割を占めています（表1、図2）。

また、福島県の農産物生産によって得られた生産農業所得は1,078億円となり、前年の742億円から336億円（45.3%）増と大幅に増加しました（表1）。

図1 部門別農業産出額（令和5年、6年）（福島県）



出典：農林水産省「生産農業所得統計」を基に東北農政局福島県拠点が作成（以下同じ）。

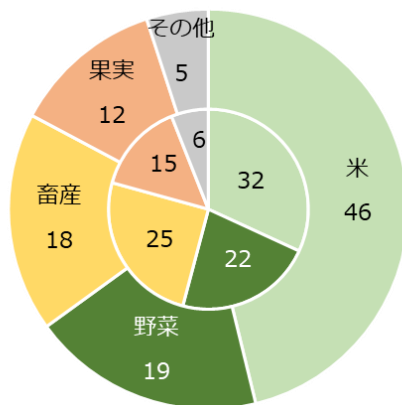
注：畜産は肉用牛、乳用牛、豚、鶏、その他の畜産物の各部門の合計である（以下同じ）。

表1 令和6年農業産出額及び生産農業所得（福島県）

区分	実額	構成割合	対前年
			増減率
	億円	%	%
<b>農業産出額</b>	<b>2,874</b>	100.0	32.9
うち耕種計	2,348	81.7	46.1
うち米	1,324	46.1	92.7
野菜	541	18.8	12.7
果実	352	12.2	11.0
花き	79	2.7	△ 4.8
うち畜産計	510	17.7	△ 5.9
うち肉用牛	137	4.8	7.0
乳用牛	83	2.9	3.8
豚	85	3.0	△ 15.0
鶏	202	7.0	△ 12.9
うち加工農産物	17	0.6	21.4
<b>生産農業所得</b>	<b>1,078</b>	-	45.3

注：乳用牛には生乳、鶏には鶏卵及びブロイラーを含む（以下同じ）。

図2 部門別農業産出額割合（令和5年、6年）（福島県）



注1：各部門の構成割合（%）で、外円は令和6年、内円は令和5年である。

注2：統計値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ）。

# 福島県の過去最高額年（昭和60年）と令和6年を比較

福島県の農業産出額は、米の収穫量の増加に伴い、昭和60年には4,002億円となり、過去最高となりました。

令和6年と昭和60年を比べると、農業産出額は1,128億円（28%）減少しました。

この要因は、米の消費量が年々減る中で需要に見合う生産を進めたこと、葉たばこやこんにゃくといった工芸農作物、さらに豚や養蚕などの畜産については、高齢化による後継者不足や価格低迷などによって生産が減少したことにより、産出額が減少したと考えられます（表2）。

令和6年市町村別農業産出額（推計）については、令和8年6月に公表を予定しています。

参考として、令和5年市町村別農業産出額（推計）と昭和60年を比較すると、畜産部門への大規模経営体の参入や、野菜など高収益作物への転換が進んだ市町村では、農業産出額が増加したり、減少率が30%未満と低くなっています。

一方、米や工芸農作物から他の作物への転換があまり進まなかった市町村や、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響を受けた市町村では、農業産出額の減少率が50%以上と高くなっています（図3）。

昭和60年の農業産出額の1位部門を市町村別にみると、米が90市町村のうち67市町村で、全体の約7割を占めました。

次いで工芸農作物が6市町村で、当時は阿武隈高地や会津地域の市町村で葉たばこ栽培が盛んに行われていました。

果実は県北地区の5市町村で、現在も、ももを中心に栽培が盛んに行われています（図4）。

令和5年においても、米が県内の28市町村で1位と最も多くなっていますが、会津地域を中心に、1位部門が米から野菜や畜産、花きなどへ変化しています（図5）。

表2 部門別農業産出額の比較  
(福島県：昭和60年、令和6年)

	農業産出額					
	米	工芸農作物	畜産			
			豚	鶏	養蚕	
昭和60年	4,002	1,757	253	959	295	144
令和6年	2,874	1,324	5	510	85	...
差	△ 1,128	△ 433	△ 248	△ 449	△ 210	nc
増減率	△ 28	△ 25	△ 98	△ 47	△ 71	nc

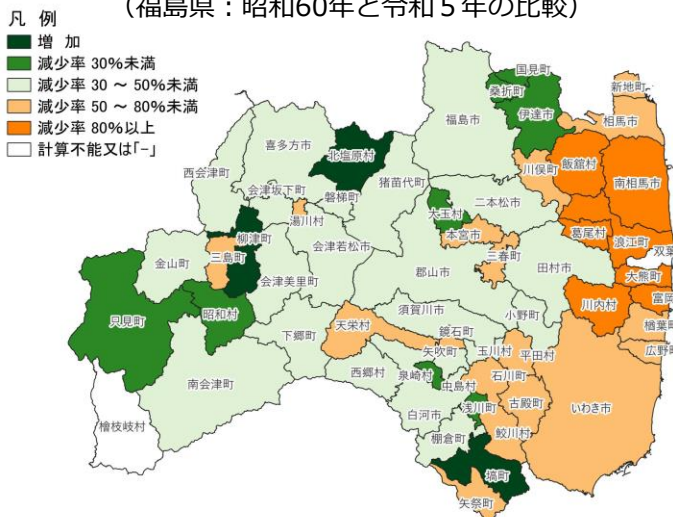
注1： 100億円以上減少した部門を掲載した。

2： 日本標準産業分類の改訂により平成13年から養蚕が畜産に分類された。このため、昭和60年の畜産に養蚕を含めて比較した。

3： 「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

4： 「nc」は計算不能。

図3 市町村別農業産出額（推計）の増減率  
(福島県：昭和60年と令和5年の比較)



出典： 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」を基に東北農政局福島県拠点で作成（以下同じ）。

図4 昭和60年市町村別農業産出額の1位部門の分布  
(福島県)

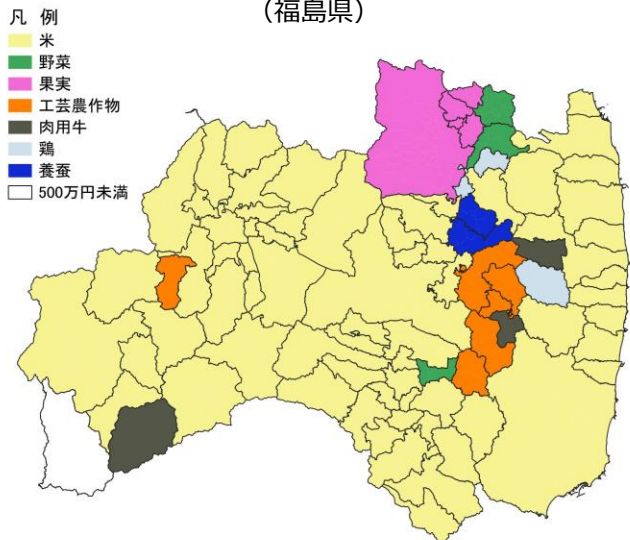
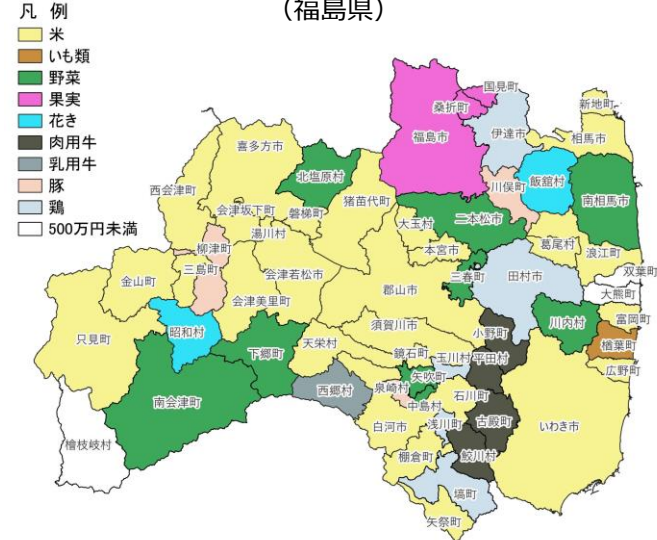


図5 令和5年市町村別農業産出額の1位部門の分布  
(福島県)



2 注： 昭和60年当時の90市町村における農業産出額の分布である。

## （1）東北6県から見た福島県の位置

東北6県の令和6年農業産出額は、主食用米の高騰により各県ともに大幅に増加しました。

農業産出額が最も多かったのは青森県の4,119億円で、次いで岩手県の3,269億円、山形県の3,025億円となっています。

福島県は平成22年農業産出額が2,330億円で、青森県に次ぐ東北第2位となっていました。

しかし、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の発生により、平成23年には1,851億円まで減少しました。その後は2,000億円前後で推移していましたが、令和6年には2,874億円となり、平成22年（2,330億円）を544億円上回りました（図6、7）。

令和6年の部門別農業産出額を平成22年と比べると、青森県では野菜・果実・畜産、岩手県では畜産、山形県では果実・畜産がいずれも100億円以上増加しており、米以外の分野でも大幅に増加しています（図7）。

福島県でも農業産出額を増加させるためには、野菜や果実、畜産といった分野の拡大が不可欠です。現在、関係機関が連携して進めている園芸作物や畜産の生産振興、新規就農者支援の取り組みが、今後、農業算出額の増加につながると考えられます（図7）。

## （2）福島県の部門・品目の推移

### ・野菜

令和6年の野菜の農業産出額を品目別にみると、最も多いのはきゅうりの131億円で、トマトが100億円、ねぎが32億円と続いています。

平成22年と比べると、きゅうりは18億円（対比16%）、トマトは20億円（同25%）、ねぎは2億円（同7%）と、いずれも増加しています。

これら3品目は、作付面積の減少にともない収穫量が減少傾向にあるものの、販売価格の上昇が農業産出額の増加につながっています（図8）。

### ・果実

令和6年の果実の農業産出額を品目別にみると、最も多いのはももの168億円で、次いでりんごの62億円、日本なしの52億円、ぶどうの37億円となっています。

平成22年と比べると、もものは67億円（対比66%）、ぶどうは21億円（同131%）と大幅に増加しました。もものは、平成23年に価格が大幅に低下し農業産出額が55億円まで落ち込みました。その後は価格の回復・上昇により増加に転じています。ぶどうも価格の上昇により増加傾向で推移しています。

一方で、日本なしは22億円（同30%）、りんごは8億円（同11%）減少しました。これは、生産者の高齢化などを背景に栽培の中止・規模縮小が進み、収穫量が減少していることが主な要因と考えられます（図9）。

図6 農業産出額の推移  
（東北6県：平成22年～令和6年）

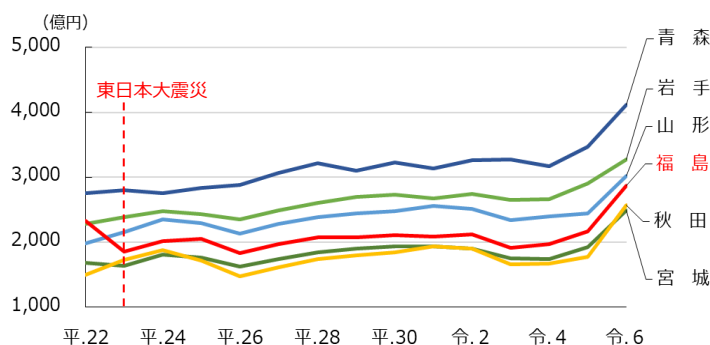


図7 平成22年と令和6年の部門別農業産出額の増減比較  
（東北上位3県、福島県）

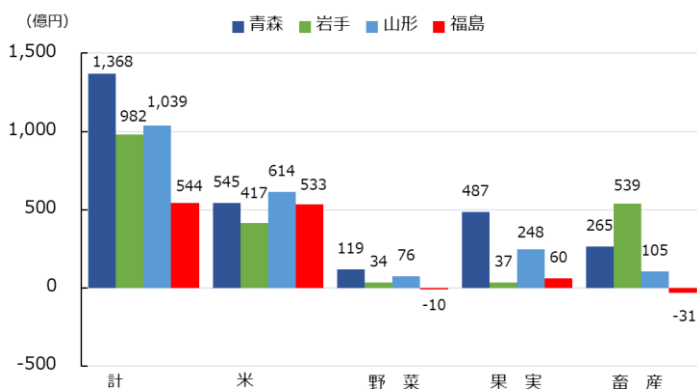


図8 野菜の品目別農業産出額の推移  
（福島県：平成22年～令和6年）

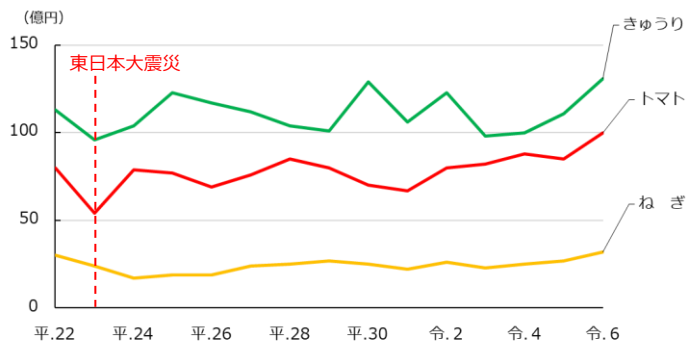
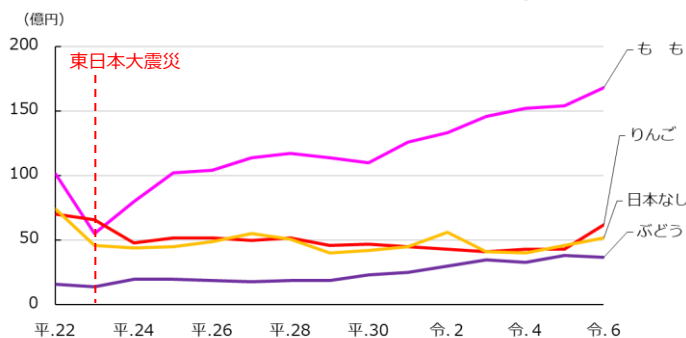


図9 果実の品目別農業産出額の推移  
（福島県：平成22年～令和6年）



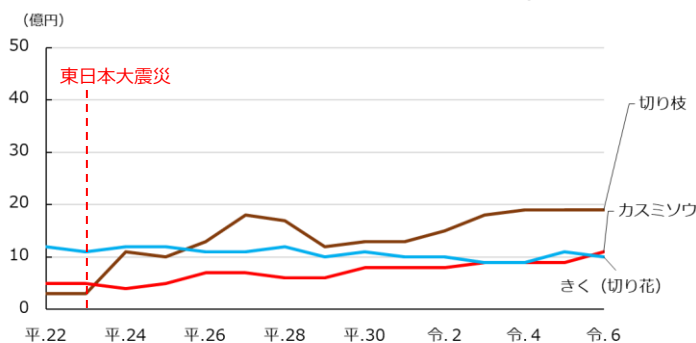
## ・花き

令和6年の花きの農業産出額を品目別にみると、最も多いのは切り枝の19億円で、カスミソウが11億円、きく（切り花）が10億円と続いています。

平成22年と比べると、切り枝は16億円（対比533%）、カスミソウは6億円（同120%）と大幅に増加しました。切り枝は価格の大幅な上昇により、カスミソウは出荷量の増加と価格の上昇により増加傾向で推移しています。

一方、きく（切り花）は出荷量が減少しているものの、価格が上昇していることから10億円前後で推移しています（図10）。

図10 花きの品目別農業産出額の推移  
（福島県：平成22年～令和6年）



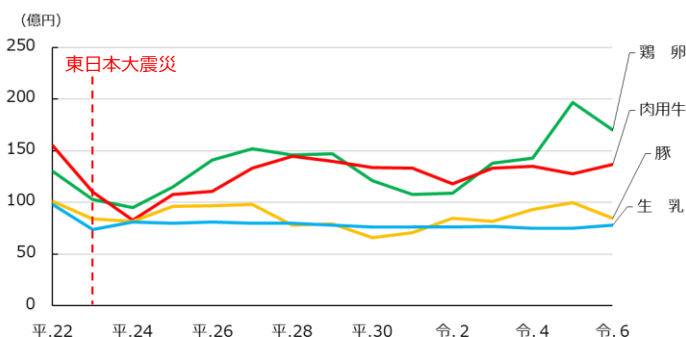
## ・畜産

令和6年の畜産の農業産出額を品目別にみると、最も多いのは鶏卵の170億円で、次いで肉用牛の137億円、豚の85億円、生乳の78億円となっています。

平成22年と比べると、鶏卵は40億円（対比31%）増加しました。これは、令和3年以降、鳥インフルエンザの影響により価格が上昇したことによると考えられます。

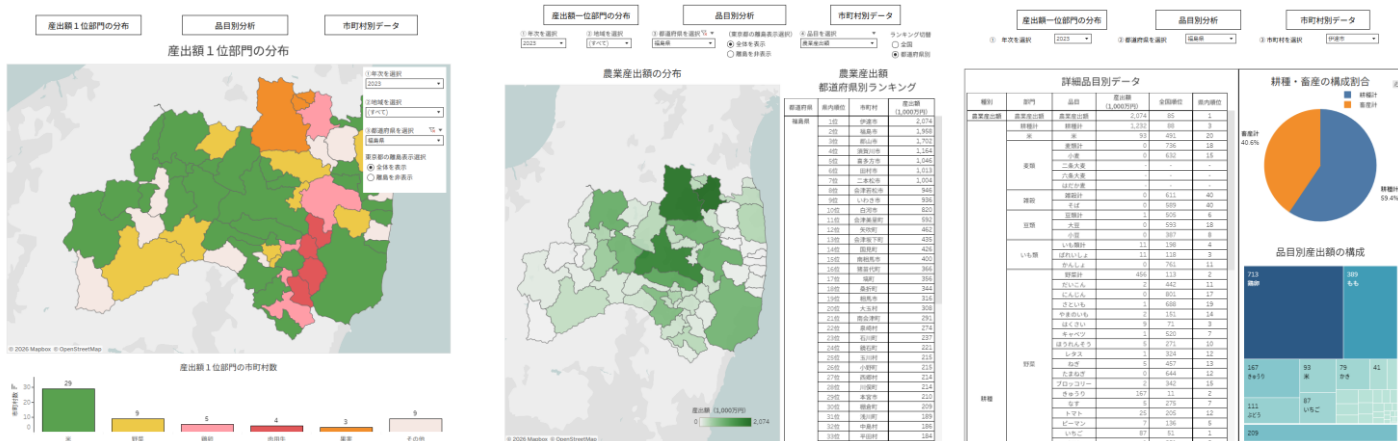
一方、生乳は20億円（20%）、肉用牛は18億円（12%）、豚は16億円（16%）減少しました。これらは、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響を受け、避難地域での飼養中止が主な要因と考えられます（図11）。

図11 畜産の品目別農業産出額の推移  
（福島県：平成22年～令和6年）



## 農林水産省ホームページの「MAFF統計ダッシュボード」の紹介

農林水産省ホームページの統計情報にある「MAFF統計ダッシュボード」には、分野ごとにさまざまなデータやグラフが掲載されています。「市町村別農業産出額（推計）」では、産出額1位部門の分布、品目別分析、市町村別データを確認することができます。



【産出額1位部門の分布（福島県）】

【品目別分析（福島県）】

【市町村別データ（伊達市）】

【MAFF統計ダッシュボード】

URL: <https://www.maff.go.jp/j/tokei/dashboard/index.html>



－ お問い合わせ －

東北農政局 福島県拠点 〒960-8073 福島県福島市南中央3-36 TEL:024-534-4142（内線210）

別表 品目別農業産出額（福島県：上位30品目）

単位：億円

順位	農 産 物	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	農 業 産 出 額	2,330	1,851	2,021	2,049	1,837	1,973	2,077	2,071	2,113	2,086	2,116	1,913	1,970	2,163	2,874
1	米	791	750	867	754	529	563	692	747	798	814	762	574	589	687	1,324
2	鶏 卵	130	103	95	115	141	152	146	147	121	108	109	138	143	197	170
3	も も	101	55	80	102	104	114	117	114	110	126	133	146	152	154	168
4	肉 用 牛	155	110	83	108	111	133	145	140	134	133	118	133	135	128	137
5	き ゅ う り	113	96	104	123	117	112	104	101	129	106	123	98	100	111	131
6	ト マ ト	80	54	79	77	69	76	85	80	70	67	80	82	88	85	100
7	豚	101	84	82	96	97	98	78	79	66	71	85	82	93	100	85
8	生 乳	98	74	81	80	81	80	80	78	76	76	76	77	75	75	78
9	り ん ご	70	66	48	52	52	50	52	46	47	45	43	41	43	43	62
10	日 本 な し	74	46	44	45	49	55	51	40	42	45	56	41	40	46	52
11	ぶ ど う	16	14	20	20	19	18	19	19	23	25	30	35	33	38	37
12	ね ぎ	30	24	17	19	19	24	25	27	25	22	26	23	25	27	32
13	い ち ご	23	20	21	22	23	26	24	24	25	26	26	26	28	26	28
14	さやいんげん（未成熟）	31	19	21	23	23	27	24	25	28	24	27	24	24	22	23
15	ば れ い し ょ	21	18	18	25	18	23	17	13	7	14	28	14	8	12	22
16	切 り 枝	3	3	11	10	13	18	17	12	13	13	15	18	19	19	19
17	ア ス パ ラ ガ ス	15	13	12	14	14	15	15	15	15	15	15	16	15	16	17
18	干 し が き	7	-	-	3	5	10	10	10	11	11	15	10	14	14	17
19	に ら	18	12	15	13	11	11	14	16	16	13	14	14	15	14	15
20	ブ ロ イ ラ ー	26	16	14	14	16	14	17	17	21	17	18	18	16	16	15
21	レ タ ス	6	3	5	6	6	8	6	6	9	7	9	7	11	12	15
22	か き	14	4	7	10	10	13	14	14	16	15	19	17	12	15	14
23	ほ う れ ん そ う	17	8	16	13	13	15	16	14	14	13	15	14	14	14	14
24	だ い こ ん	23	14	13	17	13	14	20	13	10	13	9	8	8	7	13
25	ブ ロ ッ コ リ ー	14	10	10	11	11	13	13	13	10	10	11	12	12	14	13
26	ピ ー マ ン	9	5	6	8	7	9	7	7	11	8	11	8	8	11	13
27	さやえんどう（未成熟）	10	8	11	8	9	11	10	10	11	10	10	11	11	11	13
28	な す	14	11	11	14	12	13	11	11	13	12	13	11	9	11	11
29	カ ス ミ ソ ウ	5	5	4	5	7	7	6	6	8	8	8	9	9	9	11
30	き く（切り花）	12	11	12	12	11	11	12	10	11	10	10	9	9	11	10

出典：農林水産省「生産農業所得統計」を基に東北農政局福島県拠点が作成。

注：令和6年の上位30位までの品目について掲載した。